

令和 7 年度	板橋第十小学校	学校経営方針	＜教育目標＞	【学 校】考える子・じょうぶな子・仲よくする子・やりぬく子 【学びのエリア】自ら考えて発信し、心身ともに健康で他者と思いやりの心をもって接することができる子
---------	---------	--------	--------	---

めざす学校像
子どもたちが板十小に通ってよかった・保護者の方々が板十小に通わせてよかった・地域の方々が板十小があってよかった・教職員が板十小に勤めてよかった

教育理念「学校と社会をつなぎ、子どもたちの未来を拓く」
グローバル化や人口知能（A I）などの技術革新が急速に進み、１０年後、２０年後の社会を予測することが困難な時代です。児童には自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力が求められています。学習指導要領では、教育課程全体や教科等の学びを通じて「何ができるようになるのか」という観点から、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱からなる「資質・能力」をバランスよく育んでいくことを目指しています。 また、公立小学校は、地域の児童のための学校であり、特別な支援を要する児童や不登校児童等に対しても、可能な限り「学び（知・徳・体）の保障」を目指すことが使命であると考えます。同時に、現在は、学校現場における課題や児童・保護者・地域のニーズが多様化し、教職員だけで、それらの課題やニーズに対応していくことは困難な状況です。 板十小はコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）であり、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことになっています。既に、板十小には「板十小 ONE TEAM」という組織体があり、効果的に機能しています。 これからの時代を見据え、今後も、学校と地域等とのつながりを意図的に持続していきながら、児童が自分の未来を開拓できるように、大人も楽しみながら関わっていければと思っています

教育目標・めざす学校像・教育理念を実現するための「５つの柱」

Ⅰ 未来を拓く ① 探究的な学習の推進 ＊最重点課題 ○「自立した学習者の育成」を研究主題とし、生活科・総合的な学習を中心に、校内研究で取り組む。 ○３学期の土曜授業プランに「探究の日」を設定し、保護者・地域に公開する。 ② 「板橋区授業スタンダードSタイプ」の推進 ○「板橋区授業スタンダード」（INPUT・THINK・OUTPUT）に加え、個別最適な学び・協働的な学びを実現するために、児童の自己選択（Seif＋Select）による学習（内容、方法、進度等）を推進する。 ③ オープンスペース（OS）の活用 ○自立した学習者の育成、及び基礎的・基本的な知識・技能の習得のために、児童の発達段階に応じてOSを有効活用する。 ④ 学年ONEチームの推進 ○交換授業、教科担任制、学年担任制等を実践し、学年全体の児童の育成を図る。	Ⅱ 誰一人取り残さない ① 気になる児童の状況把握 ○「気がかり児童委員会」において、子どもたちの情報を共有し、支援方法を協議する。各ケースに応じて、いじめ対策委員会、登校支援委員会、特別支援教育委員会等において更に検討し、長期的に支援を実施する。 ○ICTを活用し、常に教職員全体で情報を共有する。 ② 特別支援教育の充実 ○学級担任、専科担当、巡回指導教員が積極的に情報交換するとともに、研修の機会を設ける。 ○対象の児童については「個別の教育支援計画」「個別指導計画」を作成し、本人・保護者と共有する。 ○学校地域支援本部（１０サポ）等に授業の支援をいただくことで、教員の対象児童の支援を増やす。 ③ 個に応じた不登校対策 ○欠席理由に関わらず、２日連続で欠席した児童について、本人・保護者と話す機会を設ける。	Ⅲ 健やかな成長 ① 人権教育の推進 ＜いじめ防止＞ ○いじめの定義を「相手が嫌な気持ちになったらいじめ」と平易に表現し、児童・教職員・保護者・地域で共通理解のもと対応できるようにする。また、全ての児童が相談できる大人・機関を認識できるようにする。 ○年３回以上、児童アンケートと授業を実施する。 ＜生命（いのち）の安全教育＞ ○児童が性暴力の加害者・被害者・傍観者にならないよう、道徳や学級活動において「生命（いのち）の安全教育」を実施する。 ＜体罰・不適切な指導の禁止＞ ○教職員が児童の心身を傷つけることのないよう、年３回以上、体罰等の禁止をテーマにした服務事故防止研修を実施する。 ② 健やかな体と豊かな心の育成 ○１学期に「体育学習発表会」を実施する。 ○２学期に「音楽学習発表会」を実施する。	Ⅳ 自分で決める ① 学級活動の充実 ○年間を通して児童が主体となった学級活動を実施し、２学期の土曜授業プランにおいて「学級活動の日」として公開する。 ② よりよい学校について考える ○「板十小をよりよくするために」をテーマに児童の意見を募り、それを基に、学校のきまりや委員会活動の内容等を多様な人と検討する。
Ⅴ 社会とつながる ① 「板十小ONE TEAM」で教育の充実 ○児童を中心に、板十小ONE TEAMの各組織が連携した取組を実施する。 ○児童の学びが充実するように、板十小ONE TEAM等を通して、教職員以外の人材を積極的に活用する。 ② 教職員の負荷を可視化 ○板十小ONE TEAMの支援による教職員の働き方への効果を可視化する（ストレスチェック、アンケート、フォローアップ対策 等）。			

学校における働き方改革	◎学校における働き方改革の目的は「学校教育の質の向上」 ・年間余剰時数は各学年 15 時間程度 ・行事等の見直し ・「板十小ONE TEAM」による授業等の支援 ・フリーアドレスのメリットを生かした職員室内のコミュニケーション充実 等
-------------	--